

取扱説明書

フィールドロガー DL30 シリーズ

Web ロガー2 用 コンフィギュレータソフト付録

形式 **DL30GCFG**
(CSV ファイルフォーマット)

目次

1. はじめに	4
1.1 取扱説明書の対応バージョン	4
2. CSV 形式について	5
2.1 CSV ファイル形式とは	5
2.2 CSV ファイル形式で保存する	6
3. CSV ファイルフォーマット	8
3.1 システム	9
3.2 入出力	10
3.2.1 スレーブ設定	11
3.2.2 アナログ入力(AI)設定	12
3.2.3 デジタル入力(DI)設定	18
3.2.4 パルス入力(PI)設定	21
3.2.5 アナログ演算レジスタ(MA)設定	26
3.2.6 デジタル演算レジスタ(MD)設定	30
3.2.7 アナログ出力(AO)設定	31
3.2.7 デジタル出力(DO)設定	33
3.2.8 デジタル出力グループ(GDO)設定	34
3.3 通信	35
3.3.1 WEB	36
3.3.2 FTP サーバ	37
3.3.3 SNMP	37
3.3.4 Modbus/TCP スレーブ	37
3.3.5 SMTP・POP3 設定	38
3.3.5 FTP クライアント設定	39
3.4 メール通報	40
3.4.1 通報先設定	40
3.4.2 フォーム	41
3.4.3 定時通報	42
3.4.4 通報失敗出力	43
3.4.5 通報カレンダー	44
3.5 描画・表示	47
3.5.1 トレンド画面	48
3.5.2 データ画面	49
3.6 記録	50
3.6.1 ロギング	51
3.6.2 イベント	54
3.6.3 帳票	55
3.7 スケジュール	57
3.7.1 パターン設定	58
3.7.2 ユニット設定	59
3.7.3 メンテナンス入力設定	60
3.8 稼働監視	61

1. はじめに

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

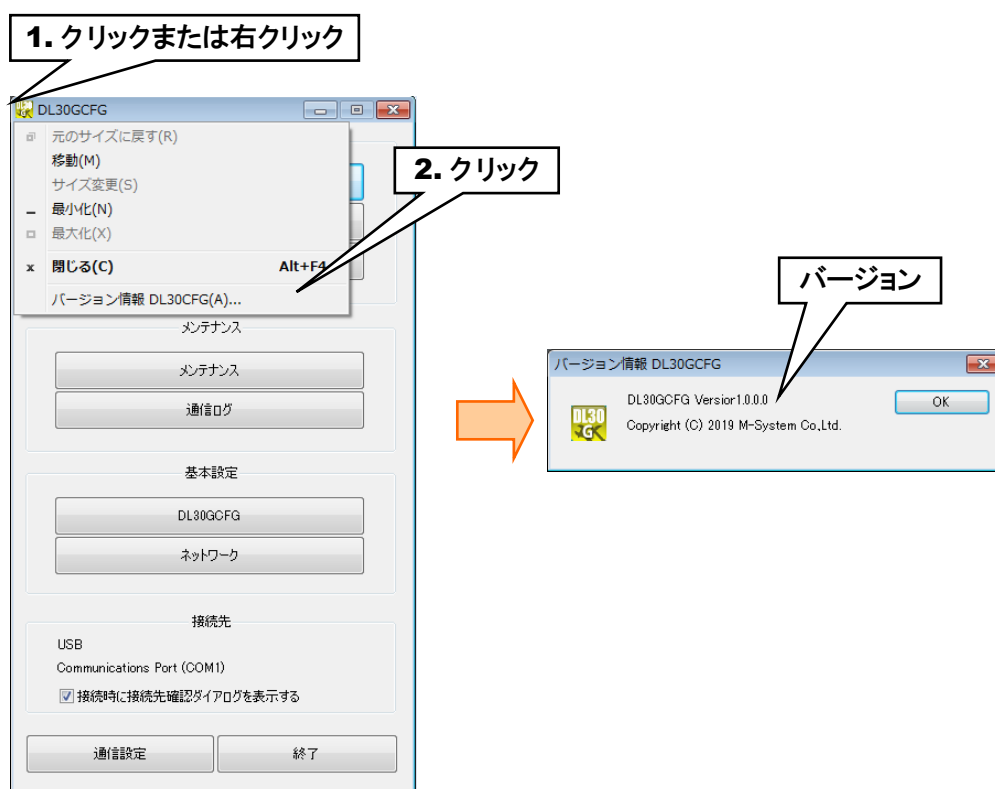
本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認ください。

1.1 取扱説明書の対応バージョン

本取扱説明書は、DL30GCFG のバージョン 3.0 以降に対応しています。

DL30GCFG のバージョンは以下の方法で確認できます。

- ①初期画面の左上の  をクリック(または右クリック)します。
- ②「バージョン情報 DL30GCFG(A)...」をクリックすると、バージョン情報のダイアログが表示されます。



本取説では、DL30GCFG にて作成した設定データを CSV ファイル形式で保存した場合のフォーマットを説明します。
設定方法、内容につきましては、DL30-G 取扱説明書 (NM-8571-G) をご参照ください。

2. CSV 形式について

2.1 CSV ファイル形式とは

ここで示します CSV ファイルとは、データの区切りを「,」(半角カンマ)、データの終端を「改行(CR+LF)」で表すファイルの事を指します。

ただし、以下に示しますデータの場合は例外です。

- ① 1 つのデータ内に「,」(半角カンマ)が存在する場合、データ全体を「"」(半角ダブルクォーテーション)で囲みます。
(例: 123,456 → "123,456")
- ② 1 つのデータ内に「"」(半角ダブルクォーテーション)が存在する場合、「"」を 2 つ重ね、データ全体を「"」(半角ダブルクォーテーション)で囲みます。
(例 1: AB"CD → "AB""CD")
(例 2: "AB"CD" → """"AB""CD""")
- ③ 1 つのデータ内に「改行(CR+LF)」が存在する場合、データ全体を「"」(半角ダブルクォーテーション)で囲みます。

例	1		"1
	2	→	2
	3		3"

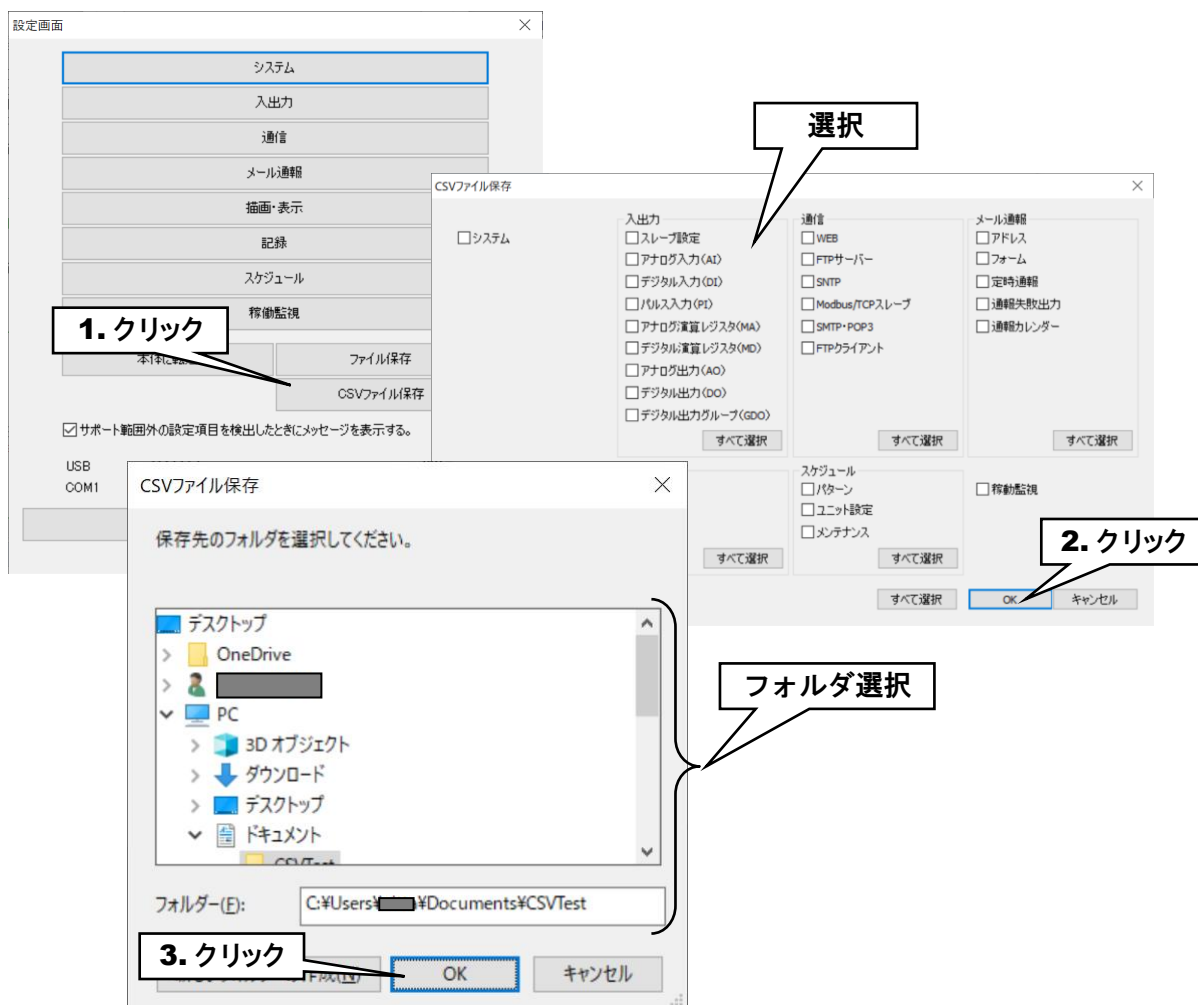
特記事項

- Microsoft Excel で CSV ファイルを開いた場合、データ全体を囲んだ「"」(ダブルクォーテーション)は表示されません。

2.2 CSV ファイル形式で保存する

DL30GCFG にて設定したデータを CSV ファイル形式で保存する方法を以下に示します。

- ① 設定データを展開し、**CSV ファイル保存** ボタンをクリック。
- ② CSV ファイル形式で保存するデータにチェックを入れ、**OK** ボタンをクリック。
すべて選択 ボタンをクリックで、対応する枠内の項目全てにチェックが入ります。
 いずれかにチェックが入った状態で **すべて選択** ボタンをクリックするとチェックが解除されます。
- ③ CSV ファイルを保存するフォルダを選択し、**OK** ボタンをクリックで「フォルダ (F):」のテキストボックスに表示されたファイルパスに保存されます。
 選択したフォルダにファイルがある場合、上書きされます。
 保存データとファイル名の対応については「表 1 保存データとファイル名一覧」を参照ください。



保存データ		ファイル名	詳細
システム	—	System.csv	3.1 システム
入出力	スレーブ設定	NODE.csv	3.2.1 スレーブ設定
	AI	AI.csv	3.2.2 アナログ入力(AI)設定
	DI	DI.csv	3.2.3 デジタル入力(DI)設定
	PI	PI.csv	3.2.4 パルス入力(PI)設定
	MA	MA.csv	3.2.5 アナログ演算レジスタ(MA)設定
	MD	MD.csv	3.2.6 デジタル演算レジスタ(MD)設定
	AO	AO.csv	3.2.7 アナログ出力(AO)設定
	DO	DO.csv	3.2.7 デジタル出力(DO)設定
	GDO	GDO.csv	3.2.8 デジタル出力グループ(GDO)設定
通信	WEB	WEB.csv	3.3.1 WEB
	FTP サーバ	FTPS.csv	3.3.2 FTP サーバ
	SNTP	SNTP.csv	3.3.3 SNTP
	Modbus/TCP スレーブ	MODBUS_TCP.csv	3.3.4 Modbus/TCP スレーブ
	SMTP・POP3 設定	SMTP_POP3.csv	3.3.5 SMTP・POP3 設定
	FTP クライアント	FTPC.csv	3.3.5 FTP クライアント設定
メール通報	通報先設定	MailAddr.csv	3.4.1 通報先設定
	フォーム	Form.csv	3.4.2 フォーム
	定時通報	Time.csv	3.4.3 定時通報
	通報失敗出力	Error.csv	3.4.4 通報失敗出力
	通報カレンダー	Calender.csv	3.4.5 通報カレンダー
描画・表示	トレンド画面	Trend.csv	3.5.1トレンド画面
	データ画面	Data.csv	3.5.2 データ画面
記録	ロギング	Logging.csv	3.6.1 ロギング
	イベント	Event.csv	3.6.2 イベント
	帳票	Report.csv	3.6.3 帳票
スケジュール	パターン設定	Pattern.csv	3.7.1 パターン設定
	ユニット設定	Unit.csv	3.7.2 ユニット設定
	メンテナンス入力設定	Mainte.csv	3.7.3 メンテナンス入力設定
稼働監視	—	Opemon.csv	3.8 稼働監視

表 1 保存データとファイル名一覧

3. CSV ファイルフォーマット

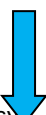
CSV ファイルの縦方向に設定項目、横方向に設定データを出力します。
出力します設定項目名、設定データは DL30GCFG と同様です。一部例外については、各項で示します。

例: メンテナンス入力データを CSV ファイルへ保存した場合、下記のように保存されます。

メンテナンス入力設定

チャンネル	タイプ	DI
	CH	005

OK キャンセル



CSV ファイルに変換

ファイル名称: Mainte.csv

チャンネル,タイプ,DI
,CH,5

Microsoft Excel で

開いたときの例



チャンネル	タイプ	DI
	CH	5

項目ごとにレベル(項目 1~4)があり、下記表のようにあらわします。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2
チャンネル	タイプ
ー(ブランク)	CH

この行は、CSV ファイルに保存されません。

以降、各項目の一覧表と詳細を示します。

ご注意

- 前提として DL30GCFG にて設定したデータを CSV ファイルへ変換としますので、エラーチェックは行われません。

3.1 システム

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。

例: System.csv

名称,,エム・システム技研
タイムゾーン,時,9
,分,0
時刻修正均等化,,使用
言語,,Japanese

ファイル名称: System.csv

DL30GCFG「システム」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ
名称	— (ブランク)	文字列 32 文字
タイムゾーン	時	整数 -12～13
—	分	整数 0～59
時刻修正均等化	—	「使用」、「不使用」
言語	—	「Japanese」、「English」

表 2: システム

3.2 入出力

縦方向に設定項目、横方向に各チャンネル、各スレーブ番号の設定データを出します。

例: NODE.csv

```
通信インターバル(100~10000[ms]),,100
Modbus/TCP タイムアウト(1~10[s]),,5
Modbus/TCP トランザクション ID 管理,,使用
SLMP タイムアウト(1~60[s]),,1
,,スレーブ 0,スレーブ 1,...,スレーブ 31,
スレーブタイプ,,Modbus/TCP,SLMP,...,Modbus/TCP,
IP アドレス,,192.168.10.1,192.168.10.100,...,192.168.10.15,
ポート番号,,502,502,...,502,
通信異常出力,タイプ,MD,DO,...,なし,
...
```

例: AI.csv

```
,,,CH1,CH2,...,CH256,
CH 設定,,,カード,Modbus/TCP,...,不使用,
,スロット番号,,1,...,
,カード内 CH 番号,,2,...,
,スレーブ番号,,,5,...,
...
```

3.2.1 スレーブ設定

ファイル名称: NODE.csv

DL30GCFG「入出力」→「スレーブ」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ	備考
通 信 イン タ ー バ ル (100 ~ 10000[ms])	— (ブランク)	整数 100~10000	
Modbus/TCP タイムアウト(1~10[s])	—	整数 1~10	
Modbus/TCP トランザクション ID 管理	—	「使用」、「不使用」	
SLMP タイムアウト(1~60[s])	—	整数 1~60	
1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3~66 列目 設定データ	備考
—	—	スレーブ 0~スレーブ 63	
スレーブタイプ	—	「 Modbus/TCP 」 、 「SLMP」	
IP アドレス	—	IPv4	
ポート番号	—	整数 0~65535	
通信異常出力	タイプ	「なし」、「MD」、「DO」、 「GDO」	
—	CH	整数 タイプに対応した CH 番号	通信異常出力、タイプで「なし」 を設定した場合、ブランク。
Modbus/TCP	ノード番号	整数 0~255	スレーブタイプで 「Modbus/TCP」 を設定した場合のみ有効。
—	コネクション共有	「不使用」、「スレーブ 0」 ~「スレーブ 30」	
SLMP	ネットワーク番号	整数 0~255	スレーブタイプで「SLMP」を 設定した場合のみ有効。
—	局番号	整数 1~255	
—	プロセッサ番号 16 進	整数 (16 進数) 0 ~ 0xffff	

表 3: スレーブ設定

3.2.2 アナログ入力(AI)設定

ファイル名称: AI.csv

DL30GCFG「入出力」→「アナログ入力(AI)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(CH 番号)AI1～AI128	
CH 設定	—	—	「不 使 用」、「カード」、「Modbus/TCP」、「SLMP」、「操作入力」、「時刻入力」、「デモ(正弦波)」、「デモ(正弦波)」	「不 使 用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
—	スロット番号	—	整数 1～16	CH 設定で「カード」を設定した場合のみ有効。
—	カード内 CH 番号	—	整数 1～4	
—	スレーブ番号	—	整数 0～63	CH 設 定 で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタ種別	—	「Input Register (3X)」、「Holding Register (4X)」	CH 設定で「Modbus/TCP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタアドレス	—	整数 1～65536	
—	SLMP デバイスコード	—	表 6: アナログ入力 (AI) SLMP デバイスコード参照	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	SLMP デバイス番号(10 進)	—	整数 0～4294967295	CH 設定で「SLMP」かつ、「SLMP デバイスコード」が対応している場合のみ有効。 表 6: アナログ入力 (AI) SLMP デバイスコード参照
—	SLMP デバイス番号(16 進)	—	整数(16 進数) 0～0xffffffff	
—	時刻入力種別	—	「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」、「曜日」	CH設定で「時刻入力」が設定された場合のみ。
CH 名称	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	文字列 16 文字	
データタイプ	—	—	「%(0-10000)」、「Int(符号有り整数)」、「Uint(符号無し整数)」	CH設定で「時刻入力」以外が設定された場合のみ有効。
フィルタ	—	—	「なし」、「移動平均」、「一次遅れ」	CH設定で「時刻入力」以外が設定された場合のみ有効。
—	移動平均数	—	「4」、「8」、「16」、「32」、「64」	CH設定で「時刻入力」以外かつ、フィルタで「移動平均」が設定された場合有効。
—	時定数(秒)	—	整数 0～100	CH設定で「時刻入力」以外かつ、フィルタで「一次遅れ」が設定された場合有効。

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
スケール	0%	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	CH 設定で「時刻入力」以外 かつ、データタイプで 「% (0-10000)」が設定された 場合のみ有効。
—	100%	—		
—	Int	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	CH 設定で「時刻入力」以外 かつ、データタイプで「% (0- 10000)」以外が設定された 場合のみ有効。
数値表示時の小 数点以下桁数	—	—	「0」、「1」、「2」、「3」	CH 設定で「時刻入力」以外 が設定された場合のみ有 効。
工業単位	—	—	文字列 8 文字	
領域設定	—	—		表 5: アナログデータ領域 設定に続く

表 4: アナログ入力(AI)

DL30GCFG「入出力」→「アナログ入力(AI)」→「領域設定」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 (MA の場合 5～260 列目) 設定データ	備考
使用領域数	— (ブランク)	—	「不使用」、「2」、「3」、「4」、 「5」	CH 設定で「不使用」以外 が設定された場合のみ有 効。 使用領域数「不使用」を設 定した場合、以下の項目 全てブランク。
領域 5	基本設定	下限値	小数点以下桁数 3 桁 -100000000000.000～ 100000000000.000	使用領域数で「5」が設定 された場合のみ有効。
—	—	名称	文字列 32 文字	
—	—	表示色	RGB (整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
—	—	警報出力(MD)1 - 32	整数 (16 進数)ビット単位、 0 の時 OFF、1 の時 ON	
—	—	警報出力(MD)33 - 64		
—	—	警報出力(MD)65 - 96		
—	—	警報出力(MD)97 - 128		
—	—	警報出力(MD)129 - 160		
—	—	警報出力(MD)161 - 192		
—	—	警報出力(MD)193 - 224		
—	—	警報出力(MD)225 - 256		
—	—	警報出力(GDO)1 - 32	整数 (16 進数)ビット単位、 0 の時 OFF、1 の時 ON	
—	—	警報出力(DO)1 - 32	整数 (16 進数)ビット単位、 0 の時 OFF、1 の時 ON	
—	—	警報出力(DO)33 - 64		
—	—	警報出力(DO)65 - 96		
—	—	警報出力(DO)97 - 128		
—	—	積算リセット(PI)1 - 32	整数 (16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時実行	
—	—	積算リセット(PI)33 - 64		
—	—	積算リセット(PI)65 - 96		
—	—	積算リセット(PI)97 - 128		
—	—	演算リセット(MA)1 - 32	整数 (16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時実行	
—	—	演算リセット(MA)33 - 64		
—	—	演算リセット(MA)65 - 96		
—	—	演 算リセット(MA)97 - 128		
—	—	演算リセット(MA)129 - 160		
—	—	演算リセット(MA)161 - 192		
—	—	演算リセット(MA)193 - 224		
—	—	演算リセット(MA)225 - 256		

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 (MA の場合 5～260 列目) 設定データ	備考
—	上方向遷移設定	イベント記録	「有効」、「無効」	使用領域数で「5」が設定された場合のみ有効。
—	—	メッセージ	文字列 32 文字	
—	—	イベント番号	整数 1～64	
—	—	フォーム番号 1 - 32	整数(16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時通報	
—	—	フォーム番号 33 - 64		
—	—	フォーム番号 65 - 96		
—	—	フォーム番号 97 - 128		
領域 4	基本設定	上限値	小数点以下桁数 3 桁 -100000000000.000～ 100000000000.000	使用領域数で「5」が設定された場合のみ有効。
—	—	下限値	小数点以下桁数 3 桁 -100000000000.000～ 100000000000.000	使用領域数で「5」、「4」が 設定された場合のみ有効。
—	—	以下、領域 5「名称」以降と同様の為、省略	以下、領域 5「名称」以降と同様の為、省略	
—	—	...	...	
—	上方向遷移設定	領域 5 と同様の為、省略	領域 5 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」が 設定された場合のみ有効。
—	—	...	...	
—	下方向遷移設定	イベント記録	「有効」、「無効」	使用領域数で「5」が設定された場合のみ有効。
—	—	メッセージ	文字列 32 文字	
—	—	イベント番号	整数 1～64	
—	—	フォーム番号 1 - 32	整数(16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時通報	
—	—	フォーム番号 33 - 64		
—	—	フォーム番号 65 - 96		
—	—	フォーム番号 97 - 128		
領域 3	基本設定	上限値	小数点以下桁数 3 桁 -100000000000.000～ 100000000000.000	使用領域数で「5」、「4」が 設定された場合のみ有効。
—	—	下限値	小数点以下桁数 3 桁 -100000000000.000～ 100000000000.000	使用領域数で「5」、「4」、 「3」が設定された場合のみ有効。
—	—	以下、領域 5「名称」以降と同様の為、省略	以下、領域 5「名称」以降と同様の為、省略	
—	—	...	...	
—	上方向遷移設定	領域 5 と同様の為、省略	領域 5 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」、 「3」が設定された場合のみ有効。
—	—	...	...	
—	下方向遷移設定	領域 4 と同様の為、省略	領域 4 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」が 設定された場合のみ有効。
—	—	...	...	

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 (MA の場合 5～260 列目) 設定データ	備考
領域 2	基本設定	上限値	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	使用領域数で「5」、「4」、 「3」が設定された場合の み有効。
—	—	下限値	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	使用領域数で「5」、「4」、 「3」、「2」が設定された場 合のみ有効。
—	—	以下、領域 5「名称」以 降と同様の為、省略	以下、領域 5「名称」以降と 同様の為、省略	
—	—	...	...	
—	上方向遷 移設定	領域 5 と同様の為、省 略	領域 5 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」、 「3」、「2」が設定された場 合 のみ有効。
—	—	...	...	
—	下方向遷 移設定	領域 4 と同様の為、省 略	領域 4 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」、 「3」が設定された場合の み有効。
—	—	...	...	
領域 1	基本設定	上限値	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	使用領域数で「5」、「4」、 「3」、「2」が設定された場 合のみ有効。
—	—	以下、領域 5「名称」以 降と同様の為、省略	以下、領域 5「名称」以降と 同様の為、省略	
—	—	...	...	
—	下方向遷 移設定	領域 4 と同様の為、省 略	領域 4 と同様の為、省略	使用領域数で「5」、「4」、 「3」、「2」が設定された場 合のみ有効。
—	—	...	...	

表 5: アナログデータ領域設定

SLMP デバイスコード	SLMP デバイス番号(10 進)	SLMP デバイス番号(16 進)
00A9H_特殊レジスタ(SD)	○	—
00A8H_データレジスタ(D)	○	—
00B4H_リンクレジスタ(W)	—	○
00C2H_タイマ現在値(TN)	○	—
00C8H_積算タイマ現在値(STN)	○	—
00C5H_カウンタ現在値(CN)	○	—
00B5H_リンク特殊レジスタ(SW)	—	○
00CCH_インデックスレジスタ(Z)	○	—
00AFH_ファイルレジスタ(R) ブロック切り替え	○	—
00B0H_ファイルレジスタ(ZR) 連番アクセス	—	○
002CH_ユニットリフレッシュ用レジスタ(RD)	—	○
A9H_特殊レジスタ(SD)	○	—
A8H_データレジスタ(D)	○	—
B4H_リンクレジスタ(W)	—	○
C2H_タイマ現在値(TN)	○	—
C8H_積算タイマ現在値(STN)	○	—
C5H_カウンタ現在値(CN)	○	—
B5H_リンク特殊レジスタ(SW)	—	○
CCH_インデックスレジスタ(Z)	—	○
AFH_ファイルレジスタ(R) ブロック切り替え	—	○
B0H_ファイルレジスタ(ZR) 連番アクセス	—	○

表 6: アナログ入力(AI) SLMP デバイスコード

3.2.3 デジタル入力(DI)設定

ファイル名称: DI.csv

DL30GCFG「入出力」→「デジタル入力(DI)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～258 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	(CH 番号)DI1～DI256	
CH 設定	—	「不 使 用」、「カ ー ド」、「Modbus/TCP」、「SLMP」、「AI」、「操作入力」、「デモ」	「不 使 用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
—	スロット番号	整数 1～16	CH 設定で「カード」を設定した場合のみ有効。
—	カード内 CH 番号	整数 1～16	
—	スレーブ番号	整数 0～63	CH 設 定 で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタ種別	「Input(1X)」、「Coil(0X)」	CH 設定で「Modbus/TCP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタアドレス	整数 1～65536	
—	SLMP デバイスコード	表 9: デジタル入力(DI) SLMP デバイスコード参照	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	SLMP デバイス番号(10 進)	整数 0～4294967295	CH 設定で「SLMP」かつ、「SLMP デバイスコード」が対応している場合のみ有効。表 9: デジタル入力(DI) SLMP デバイスコード参照
—	SLMP デバイス番号(16 進)	整数(16 進数) 0～0xffffffff	
—	AI CH 番号	整数 1～128	CH 設定で「AI」が設定された場合のみ有効。
—	AI BIT 位置	整数 0～15	
CH 名称	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	文字列 16 文字	
反転	—	「無効」、「実行」	
ステータス (ON/OFF)	—		表 8: デジタルデータ ステータス (ON/OFF)に続く

表 7: デジタル入力(DI)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～258 列目 設定データ	備考
ステータス(ON)	表示文字列	文字列 8 文字	CH 設定で「不使用」を設定した場合、以下の項目全てblank。
— (blank)	表示色	RGB (整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
—	オンディレイ	整数 0～999	
—	イベント記録	「有効」、「無効」	
—	イベント番号	整数 1～64	
—	メッセージ	文字列 32 文字	
—	積算リセット(PI)1 - 32	整数(16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時実行	
—	積算リセット(PI)33 - 64		
—	積算リセット(PI)65 - 96		
—	積算リセット(PI)97 - 128		
—	演算リセット(MA)1 - 32	整数(16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時実行	
—	演算リセット(MA)33 - 64		
—	演算リセット(MA)65 - 96		
—	演算リセット(MA)97 - 128		
—	演算リセット(MA)129 - 160		
—	演算リセット(MA)161 - 192		
—	演算リセット(MA)193 - 224		
—	演算リセット(MA)225 - 256		
—	フォーム番号 1 - 32	整数(16 進数)ビット単位、 0 の時無効、1 の時通報	
—	フォーム番号 33 - 64		
—	フォーム番号 65 - 96		
—	フォーム番号 97 - 128		
ステータス(OFF)	ステータス(ON)と同様の 為、省略	ステータス(ON)と同様の 為、省略	
—	...	...	

表 8: デジタルデータ ステータス(ON/OFF)

SLMP デバイスコード	SLMP デバイス番号(10 進)	SLMP デバイス番号(16 進)
0091H_特殊リレー(SM)	○	—
009CH_入力(X)	—	○
009DH_出力(Y)	—	○
0090H_内部リレー(M)	○	—
0092H_ラッチリレー(L)	○	—
0093H_アナンシェータ(F)	○	—
0094H_エッジリレー(V)	○	—
00A0H_リンクリレー(B)	—	○
00C1H_タイマ接点(TS)	○	—
00C0H_タイマコイル(TC)	○	—
0051H_ロングタイマ接点(LTS)	○	—
0050H_ロングタイマコイル(LTC)	○	—
00C7H_積算タイマ接点(STS)	○	—
00C6H_積算タイマコイル(STC)	○	—
0059H_ロング積算タイマ接点(LSTS)	○	—
0058H_ロング積算タイマコイル(LSTC)	○	—
00C4H_カウンタ接点(CS)	○	—
00C3H_カウンタコイル(CC)	○	—
0055H_ロングカウンタ接点(LCS)	○	—
0054H_ロングカウンタコイル(LCC)	○	—
00A1H_リンク特殊リレー(SB)	—	○
91H_特殊リレー(SM)	○	—
9CH_入力(X)	—	○
9DH_出力(Y)	—	○
90H_内部リレー(M)	○	—
92H_ラッチリレー(L)	○	—
93H_アナンシェータ(F)	○	—
94H_エッジリレー(V)	○	—
A0H_リンクリレー(B)	—	○
C1H_タイマ接点(TS)	○	—
C0H_タイマコイル(TC)	○	—
C7H_積算タイマ接点(STS)	○	—
C6H_積算タイマコイル(STC)	○	—
C4H_カウンタ接点(CS)	○	—
C3H_カウンタコイル(CC)	○	—
A1H_リンク特殊リレー(SB)	—	○
98H_ステッブリレー(S)	○	—
55H_ロングカウンタ接点(LCS)	○	—
54H_ロングカウンタコイル(LCC)	○	—

表 9: デジタル入力(DI) SLMP デバイスコード

3.2.4 パルス入力(PI)設定

ファイル名称: PI.csv

DL30GCFG「入出力」→「パルス入力(PI)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(CH 番号)PI1～PI128	
CH 設定	—	—	「不 使 用」、「カ ー ド」、「Modbus/TCP」、「SLMP」、「DI」、「操作入力」、「アナログ積算」、「バイナリ積算」、「デモ」	「不 使 用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
—	スロット番号	—	整数 1～16	CH 設定で「カード」を設定した場合のみ有効。
—	カード内 CH 番号	—	整数 1～2	
—	スレーブ番号	—	整数 0～63	CH 設 定 で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタ種別	—	「Input Register (3X)」、「Holding Register (4X)」	CH 設定で「Modbus/TCP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタアドレス	—	整数 1～65536	
—	反 転 (Modbus/TCP)	—	「無効」、「実行」	
—	SLMP デバイスコード	—	表 11: パルス入力(PI) SLMP デバイスコード表 6: アナログ入力(AI) SLMP デバイスコード参照	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	SLMP デバイス番号(10 進)	—	整数 0～4294967295	CH 設定で「SLMP」かつ、「SLMP デバイスコード」が対応している場合のみ有効。 表 11: パルス入力(PI) SLMP デバイスコード参照
—	SLMP デバイス番号(16 進)	—	整数(16 進数) 0～0xffffffff	
—	反転(SLMP)	—	「無効」、「実行」	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	DI CH 番号	—	整数 1～256	CH 設定で「DI」が設定された場合のみ有効。
CH 名称	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	文字列 16 文字	
スケール	—	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	
数値表示時の小数点以下桁数	—	—	「0」、「1」、「2」、「3」	
工業単位	—	—	文字列 8 文字	
計測モード(カード)	—	—	「積算」、「実量」	CH 設定で「カード」が設定された場合のみ有効。

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
パルス範囲設定			「有効」、「無効」	CH 設定が「カード」で「計測モード(カード)」が積算の場合のみ有効
計 測 モ ー ド (Modbus/TCP ・ SLMP)	—	—	「積算」、「実量」、「Float」	CH 設 定 で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
計測モード(DI)	—	—	「 ON 」、「 OFF 」、「 UP 」、「 DOWN 」	CH 設定で「DI」が設定された場合のみ有効。
パルス範囲	下側	—	整数 0～4294967295	CH 設定が「カード」、計測モード(カード)で「積算」が設定された場合と、CH 設定で「Modbus/TCP」、「SLMP」、計測モード(Modbus/TCP ・ SLMP)で「積算」が設定された場合のみ有効。
—	上側	—	整数 0～4294967295	
フィルタ	—	—	「なし」、「移動平均」、「一次遅れ」	CH 設定で「カード」、計測モード(カード)で「実量」または、CH 設定で「Modbus/TCP」、「SLMP」、計測モード(Modbus/TCP ・ SLMP)で「実量」が設定された場合有効。
—	移動平均数	—	「4」、「8」、「16」、「32」、「64」	CH 設定で「カード」、計測モード(カード)で「実量」、フィルタで「移動平均」が設定された場合または、CH 設定で「Modbus/TCP」、「SLMP」、計測モード(Modbus/TCP ・ SLMP)で「実量」、フィルタで「移動平均」が設定された場合有効。
—	時定数(秒)	—	整数 0～100	CH 設定で「カード」、計測モード(カード)で「実量」、フィルタで「一次遅れ」が設定された場合または、CH 設定で「Modbus/TCP」、「SLMP」、計測モード(Modbus/TCP ・ SLMP)で「実量」、フィルタで「一次遅れ」が設定された場合有効。
アナログ積算	対象 CH	—	整数 1～128 (AI チャンネル番号のみ)	CH 設定で「アナログ積算」が設定された場合のみ有効。
—	積算率	—	整数 0～10000	
—	時間単位	—	「分」、「時」、「日」	

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
—	ドロップアウト	—	整数 0～12000	

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～131 列目 設定データ	備考
バイナリ積算	対象 CH	—	整数 1～128 (AI チャンネル番号のみ)	CH 設定で「バイナリ積算」 が設定された場合のみ有 効。
使用領域数	—	—		以降、表 5: アナログデー タ領域設定と同様。

表 10: パルス入力 (PI)

SLMP デバイスコード	SLMP デバイス番号(10 進)	SLMP デバイス番号(16 進)
0052H_ロングタイマ現在値(LTN)	○	—
005AH_ロング積算タイマ現在値(LSTN)	○	—
0056H_ロングカウンタ現在値(LCN)	○	—
0062H_ロングインデックスレジスタ(LZ)	○	—
62H_ロングインデックスレジスタ(LZ)	○	—
56H_ロングカウンタ現在値(LCN)	○	—
00A9H_特殊レジスタ(SD)	○	—
00A8H_データレジスタ(D)	○	—
00B4H_リンクレジスタ(W)	—	○
00C2H_タイマ現在値(TN)	○	—
00C8H_積算タイマ現在値(STN)	○	—
00C5H_カウンタ現在値(CN)	○	—
00B5H_リンク特殊レジスタ(SW)	—	○
00CCH_インデックスレジスタ(Z)	○	—
00AFH_ファイルレジスタ(R) ブロック切り替え	○	—
00B0H_ファイルレジスタ(ZR) 連番アクセス	—	○
002CH_ユニットリフレッシュ用レジスタ(RD)	—	○
A9H_特殊レジスタ(SD)	○	—
A8H_データレジスタ(D)	○	—
B4H_リンクレジスタ(W)	—	○
C2H_タイマ現在値(TN)	○	—
C8H_積算タイマ現在値(STN)	○	—
C5H_カウンタ現在値(CN)	○	—
B5H_リンク特殊レジスタ(SW)	—	○
CCH_インデックスレジスタ(Z)	—	○
AFH_ファイルレジスタ(R) ブロック切り替え	—	○
B0H_ファイルレジスタ(ZR) 連番アクセス	—	○

表 11: パルス入力 (PI) SLMP デバイスコード

3.2.5 アナログ演算レジスタ(MA)設定

ファイル名称:MA.csv

DL30GCFG「入出力」→「アナログ演算レジスタ(MA)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5～260 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	—	(CH 番号)MA1～MA256	
演算式	—	—	—	「なし」、「加減算」、「乗算」、「除算」、「開平」、「移動平均」、「一次遅れ」、「ピークホールド(最大)」、「ピークホールド(最小)」、「exp」、「常用対数」、「自然対数」、「アナログ積算」、「累乗」、「F 値演算」、「スケーリング」、「上下制限」	
演算設定	入力	X1	タイプ	各演算式に対応する演算設定 表 13: アナログ演算設定一覧	演算式で「なし」を設定した場合、ブランク。
—	—	—	CH		
—	—	X2	タイプ		
—	—	—	CH		
—	—	X3	タイプ		
—	—	—	CH		
—	定数	K1	—		
—	—	K2	—		
—	—	K3	—		
—	—	K4	—		
—	—	K5	—		
—	—	A0	—		
—	—	A1	—		
—	—	A2	—		
CH 名称	—	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	—	文字列 16 文字	
WEB 画面からの操作	—	—	—	「有効」、「無効」	演算式で「なし」を設定した場合のみ有効。
WEB 操作範囲	下限	—	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	演算式で「なし」、WEB 操作範囲で「有効」を設定した場合のみ有効。
—	上限	—	—		
数値表示時の 小数点以下桁数	—	—	—	「0」、「1」、「2」、「3」	
工業単位	—	—	—	文字列 8 文字	
初期値	—	—	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	演算式で「なし」を設定した場合のみ有効。
停電保持 (MA128- MA159)	—	—	—	「有効」、「無効」	CH 番号が 128～159 かつ、演算式で「なし」が設定された場合のみ有効。
使用領域数	—	—	—		以降、表 5: アナログデータ領域設定と同様。

表 12: アナログ演算レジスタ(MA)

項目 \ 演算式			加減算	乗算、 除算	開平、 累乗	ピークホールド(最大)、(最小) Exp、常用対数、自然対数	移動平均
入力	X1	タイプ	「AI」、「DI」、「PI」、「MA」				
		CH	タイプに対応した CH 番号				
	X2	タイプ	「AI」、「DI」、「PI」、「MA」	—	—	—	—
		CH	タイプに対応した CH 番号	—	—	—	—
	X3	タイプ	「AI」、「DI」、「PI」、「MA」	—	—	—	—
		CH	タイプに対応した CH 番号	—	—	—	—
定数	K1	—	小数点以下桁数 3 桁※1			—	「4」、「8」、「16」、「32」、「64」
	K2		小数点以下桁数 3 桁※1		—	—	—
	K3		小数点以下桁数 3 桁※1	—	—	—	—
	K4		—	—	—	—	—
	K5		—	—	—	—	—
	A0		小数点以下桁数 3 桁※1		—	—	—
	A1		—	小数点以下桁数 3 桁※1	—	—	—
	A2		—	小数点以下桁数 3 桁※1	—	—	—

項目 \ 演算式			一次遅れ	スケーリング	上下制限限
入力	X1	タイプ	「AI」、「DI」、「PI」、「MA」		
		CH	タイプに対応した CH 番号		
	X2	タイプ	—	—	—
		CH	—	—	—
	X3	タイプ	—	—	—
		CH	—	—	—
定数	K1	—	整数 0～100	小数点以下桁数 3 桁 (入力ゼロ)※1	小数点以下桁数 3 桁 (下限値)※1
	K2		—	小数点以下桁数 3 桁 (入力スパン)※1	小数点以下桁数 3 桁 (上限値)※1
	K3		—	小数点以下桁数 3 桁 (出力ゼロ) -2000.000～12000.000	—
	K4		—	小数点以下桁数 3 桁 (出力スパン) -2000.000～12000.000	—
	K5		—	—	—
	A0		—	—	—
	A1		—	—	—
	A2		—	—	—

演算式			アナログ積算	F 値演算
項目				
入力	X1	タイプ	「AI」、「PI」、「MA」	
		CH	タイプに対応した CH 番号	
	X2	タイプ	—	—
		CH	—	—
	X3	タイプ	—	—
		CH	—	—
定数	K1	—	整数 0～10000	小数点以下桁数 3 桁(基準温度℃)※1
	K2		「分」、「時」、「日」(時間単位)	小数点以下桁数 3 桁(Z 値) 0.001～10000000000.000
	K3		小数点以下桁数 3 桁(ドロップアウト) 0.000～120.000	—
	K4		小数点以下桁数 3 桁(ゼロ)※1	—
	K5		小数点以下桁数 3 桁(スパン)※1	—
	A0		—	—
	A1		—	—
	A2		—	—

表 13: アナログ演算設定一覧

※1: -10000000000.000～10000000000.000

3.2.6 デジタル演算レジスタ(MD)設定

ファイル名称: MD.csv

DL30GCFG「入出力」→「デジタル演算レジスタ(MD)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～259 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(CH 番号)MD1～MD256	
演算式	—	—	「なし」、「イコール」、「AND」、 「OR」、「XOR」、「NOT」、 「RUN」	
入力	1	タイプ	各演算式に対応する演算設定 表 15: デジタル演算設定一 覧	演算式で「RUN」を設定した場 合、ブランク。
—	—	CH		
—	2	タイプ		
—	—	CH		
—	定数	K1		
—	連続入力	タイプ		
—	—	CH		
—	—	点数		
CH 名称	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	文字列 16 文字	
WEB 画面からの操作	—	—	「有効」、「無効」	演算式で「なし」を設定した場 合のみ有効。
停電保持 (MD128～MD159)	—	—	「有効」、「無効」	CH 番号が「128」から「159」か つ、演算式で「なし」が設定さ れた場合のみ有効。
ステータス (ON/OFF)	—	—	...	以降、表 8: デジタルデー タステータス (ON/OFF) と同 様。

表 14: デジタル演算レジスタ(MD)

演算式			なし	イコール NOT	AND OR	XOR
項目						
入力	X1	タイプ	—	「DI」、「MD」		
		CH	—	タイプに対応した CH 番号		
	X2	タイプ	—	—	「DI」、「MD」	
		CH	—	—	タイプに対応した CH 番号	
定数	K1	—	整数 0～999	—	—	—
連続入力 (*1)	タイプ	—	—	—	「DI」、「MD」	—
	CH		—	—	タイプに対応した CH 番号	—
	点数		—	—	整数 3～16	—

表 15: デジタル演算設定一覧

(*1) 演算式で「AND」、「OR」を選択した場合のみ設定有効。入力 X1、X2 が有効な場合は、ブランク。

3.2.7 アナログ出力(AO)設定

ファイル名称: AO.csv

DL30GCFG「入出力」→「アナログ出力(AO)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5～68 列目 設定データ	備考
— (ブランク)	—	—	—	(CH 番号) AO1～AO64	
CH 設定	—	—	—	「不 使用」、「カード」、 「Modbus/TCP」、「SLMP」	「不 使用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
—	スロット番号	—	—	整数 1～16	CH 設定で「カード」を設定した場合のみ有効。
—	カード内 CH 番号	—	—	整数 1～4	
—	スレーブ番号	—	—	整数 0～63	CH 設定で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタ種別	—	—	「Holding Register (4X)」	CH 設定で「Modbus/TCP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタアドレス	—	—	整数 1～65536	
—	SLMP デバイスコード	—	—	表 6: アナログ入力 (AI) SLMP デバイスコード参照	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	SLMP デバイス番号(10 進)	—	—	整数 0～4294967295	CH 設定で「SLMP」かつ、「SLMP デバイスコード」が対応している場合のみ有効。 表 6: アナログ入力 (AI) SLMP デバイスコード参照
—	SLMP デバイス番号(16 進)	—	—	整数(16 進数) 0～0xffffffff	
CH 名称	—	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	—	文字列 16 文字	
WEB 画面からの操作	—	—	—	「有効」、「無効」	I/O マッピングのモードで「無効」が設定された場合のみ有効。
WEB 操作範囲	下限	—	—	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	WEB 画面からの操作で「有効」が設定、I/O マッピングのモードで「無効」が設定された場合のみ有効。
—	上限	—	—		
スケール	—	—	—	小数点以下桁数 4 桁 -10000000000.0000～ 10000000000.0000 0.0000 は不可	

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列 目 項 目 4	5～68 列目 設定データ	備考
数値表示時の 小数点以下桁 数	—	—	—	「0」、「1」、「2」、「3」	
工業単位	—	—	—	文字列 8 文字	
初期値	—	—	—	整数 -32768～32767	
I/O マッピング	モード	—	—	「無効」、「アナログ」、「デジタル」	Web からの操作で「無効」が設定された場合有効。
—	アナログ	タイプ	—	「AI」、「MA」	I/O マッピングで「アナログ」が設定された場合のみ有効。
—	—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	
—	デジタル	0	タイプ	「0 固定」、「1 固定」、「DI」、「MD」	I/O マッピングで「デジタル」が設定された場合のみ有効。
—	—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	I/O マッピングで「デジタル」、0 タイプで「DI」または「MD」が設定された場合のみ有効。
...	...	...	...	...	デジタル 1～14 デジタル 0 と同様
—	デジタル	15	タイプ	「0 固定」、「1 固定」、「DI」、「MD」	I/O マッピングで「デジタル」が設定された場合のみ有効。
—	—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	I/O マッピングで「デジタル」、15 タイプで「DI」または「MD」が設定された場合のみ有効。

表 16: アナログ出力(AO)

3.2.7 デジタル出力(DO)設定

ファイル名称: DO.csv

DL30GCFG「入出力」→「デジタル出力(DO)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～130 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	(CH 番号)DO1～DO128	
CH 設定	—	「不 使 用」、「カ ー ド」、「Modbus/TCP」、「SLMP」	「不 使 用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
—	スロット番号	整数 1～16	CH 設定で「カード」を設定した場合のみ有効。
—	カード内 CH 番号	整数 1～16	
—	スレーブ番号	整数 0～63	CH 設 定 で「Modbus/TCP」、「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタ種別	「Coil(0X)」	CH 設定で「Modbus/TCP」が設定された場合のみ有効。
—	Modbus/TCP レジスタアドレス	整数 1～65536	
—	SLMP デバイスコード	表 9: デジタル入力(DI) SLMP デバイスコード参照	CH 設定で「SLMP」が設定された場合のみ有効。
—	SLMP デバイス番号(10 進)	整数 1～65536	CH 設定で「SLMP」かつ、「SLMP デバイスコード」が対応している場合のみ。表 9: デジタル入力(DI) SLMP デバイスコード参照
—	SLMP デバイス番号(16 進)	整数(16 進数) 0～0xffffffff	
CH 名称	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	文字列 16 文字	
ステータス(ON)	表示文字列	文字列 8 文字	
—	表示色	RGB(整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
ステータス(OFF)	表示文字列	文字列 8 文字	
—	表示色	RGB(整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
反転	—	「無効」、「実行」	
I/O マッピング	タイプ	「不 使 用」、「DI」、「MD」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	I/O マッピングのタイプで「不 使 用」以外が設定された場合のみ有効。
WEB 画面からの操作	—	「有効」、「無効」	I/O マッピングのタイプで「不 使 用」が設定された場合のみ有効。

表 17: デジタル出力(DO)

3.2.8 デジタル出力グループ(GDO)設定

ファイル名称: GDO.csv

DL30GCFG「入出力」→「デジタル出力グループ(GDO)」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～35 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(CH 番 号) GDO1 ～ GDO32	
使用	—	—	「不使用」、「不使用」	「不使用」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
CH 名称	—	—	文字列 16 文字	
CH コメント	—	—	文字列 16 文字	
ステータス (ON)	表示文字列	—	文字列 8 文字	
—	表示色	—	RGB(整数、16進数) 0～0～0x00ffffff	
ステータス (OFF)	表示文字列	—	文字列 全角 8 文字、半角 16 文字	
—	表示色	—	RGB(整数、16進数) 0～0～0x00ffffff	
グループ内 チャンネル	1	タイプ	「不使用」、「MD」、「DO」	
—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	グループ内チャンネルの 1 タイプで「不使用」以外が設定された場合のみ有効。
...	...	...	...	グループ内チャンネル 2～31 グループ内チャンネル 1 と同様
—	32	タイプ	「不使用」、「MD」、「DO」	
—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	グループ内チャンネルの 32 タイプで「不使用」以外が設定された場合のみ有効。
I/O マッピング	タイプ	—	「不使用」、「DI」、「MD」	
—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	I/O マッピングのタイプで「不使用」以外が設定された場合のみ有効。
WEB 画面からの操作	—	—	「有効」、「無効」	I/O マッピングのタイプで「不使用」が設定された場合のみ有効。

表 18: デジタル出力グループ(GDO)

3.3 通信

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。
WEB のみ、横方向に各 ID の設定データを出力します。

例: WEB.csv

```
プロトコル,,,HTTP  
ポート番号,,,80  
,,,ID1,...,ID32,  
認証,モード,,,使用,...,不使用,  
,ログイン ID,,,m-system,...,,  
,パスワード,,,DL30,...,,  
...
```

例: FTPS.csv

```
モード,「有効」  
ログイン ID,DL30  
パスワード,DL30  
ポート番号,21
```

3.3.1 WEB

ファイル名称: WEB.csv

DL30GCFG「通信」→「WEB」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 設定データ	備考
プロトコル	— (ブランク)	—	「HTTP」、「HTTPS」	
ポート番号	—	—	整数 0～65535	
1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～35 列目 設定データ	備考
—	—	—	(ID 番号)ID1～ID32	
認証	モード	—	「不使用」、「使用」	「不使用」を設定した場合、 以下の項目全てブランク。
—	ログイン ID	—	半角英数字、半角記 号 16 文字	
—	パスワード	—	半角英数字、半角記 号 16 文字	
操作権限	CH	MA 1 - 32	整数(16 進数) ビット単位 0 の時操作不可 1 の時操作可	
—	—	MA 33 - 64		
—	—	MA 65 - 96		
—	—	MA 97 - 128		
—	—	MA 129 - 160		
—	—	MA 161 - 192		
—	—	MA 193 - 224		
—	—	MA 225 - 256		
—	—	MD 1 - 32		
—	—	MD 33 - 64		
—	—	MD 65 - 96		
—	—	MD 97 - 128		
—	—	MD 129 - 160		
—	—	MD 161 - 192		
—	—	MD 193 - 224		
—	—	MD 225 - 256		
—	—	AO 1 - 32		
—	—	AO 33 - 64		
—	—	DO 1 - 32		
—	—	DO 33 - 64		
—	—	DO 65 - 96		
—	—	DO 97 - 128		
—	—	GDO 1 - 32		
—	スケジュールユニット 1 - 32	—		

表 19: WEB

3.3.2 FTP サーバ

ファイル名称: FTPS.csv

DL30GCFG「通信」→「FTP サーバ」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 設定データ	備考
モード	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てblank。
ログイン ID	半角英数字、半角記号 16 文字	
パスワード	半角英数字、半角記号 16 文字	
ポート番号	整数 0～65535	

表 20: FTP サーバ

3.3.3 SNTP

ファイル名称: SNTP.csv

DL30GCFG「通信」→「SNTP」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 設定データ	備考
モード	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てblank。
サーバ	文字列 64 文字	

表 21: SNTP サーバ

3.3.4 Modbus/TCP スレーブ

ファイル名称: MODBUS.csv

DL30GCFG「通信」→「Modbus/TCP スレーブ」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 設定データ	備考
モード	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てblank。
ポート番号	整数 0～65535	
リンガertime	整数 0～3000	

表 22: Modbus/TCP スレーブ

3.3.5 SMTP・POP3 設定

ファイル名称: SMTP_POP3.csv

DL30GCFG「通信」→「SMTP・POP3」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ	備考
文字コード	— (ブランク)	「UTF-8」、「ISO-2022-JP」	
SMTP over SSL	—	「有効」、「無効」	
SMTP 認証	—	「無効」、「自動」、「CRAM-MD5」、「LOGIN」、「PLAIN」	
—	ID	半角英数字、半角記号 64 文字	SMTP 認証で「無効」以外が設定された場合有効。
—	パスワード		
POP before SMTP 認証	—	「有効」、「無効」	
—	POP3 ID	半角英数字、半角記号 64 文字	POP before SMTP 認証で「有効」が設定された場合有効。
—	POP3 パスワード		
本体メールアドレス	—	文字列 64 文字	
SMTP サーバの IP アドレス	—	文字列 64 文字	
POP3 サーバの IP アドレス	—	文字列 64 文字	POP before SMTP 認証で「有効」が設定された場合有効。
本体メールアカウント	—	文字列 64 文字	
送信元名称	—	文字列 64 文字	
SMTP ポート番号	—	整数 0～65535	
POP3 ポート番号	—	整数 0～65535	
STARTTLS	—	「有効」、「無効」	SMTP over SSL で「有効」を設定した場合有効。

表 23: SMTP・POP3

3.3.5 FTP クライアント設定

ファイル名称: FTPC.csv

DL30GCFG「通信」→「FTP クライアント」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ	備考
モード	— (ブランク)	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
プロトコル	—	「FTP」、「FTPS」	
ポート番号	—	整数 0～65535	
FTP	サーバアドレス	半角英数字、半角記号 64 文字	
—	ログイン ID		
—	パスワード		
—	サブフォルダ		
—	PASV アドレス(無視)	「有効」、「無効」	
通信失敗出力	タイプ	「なし」、「MD」、「DO」、「GDO」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	通信失敗出力のタイプで「なし」以外が設定された場合のみ有効。
ロギングデータ	ファイル確定時送信	「有効」、「無効」	
—	送信指令	「なし」、「MD」	
—	CH	送信指令に対応した CH 番号	ロギングデータ、送信指令で「なし」以外が設定された場合のみ有効。
イベントログ	ファイル確定時送信	「有効」、「無効」	
—	送信指令	「なし」、「MD」	
—	CH	送信指令に対応した CH 番号	イベントログ、送信指令で「なし」以外が設定された場合のみ有効。
システムログ	ファイル確定時送信	「有効」、「無効」	
—	送信指令	「なし」、「MD」	
—	CH	送信指令に対応した CH 番号	システムログ、送信指令で「なし」以外が設定された場合のみ有効。
通信ログ	ファイル確定時送信	「有効」、「無効」	
—	送信指令	「なし」、「MD」	
—	CH	送信指令に対応した CH 番号	通信ログ、送信指令で「なし」以外が設定された場合のみ有効。
スケジュールログ	ファイル確定時送信	「有効」、「無効」	
—	送信指令	「なし」、「MD」	
—	CH	送信指令に対応した CH 番号	スケジュールログ、送信指令で「なし」以外が設定された場合のみ有効。
帳票データ	ファイル更新時送信	「有効」、「無効」	

表 24: FTP クライアント

3.4 メール通報

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。

通報先設定、フォームは横方向に各 No. の設定データを出力します。

通報カレンダーは横方向に各日ごとの休日・休業の設定データを出力します。

例: Form.csv

```

,,No.1,No.2,...,No.128,
モード,,,有効,無効,...,有効,
通報先,No.1,,To,...,なし,
...
,No.128,,なし,...,To,
件名,,,エム・システム,...,DL30,
...

```

例: Calendar.csv

```

始業時間,1,開始,時,8,
,,,分,45,
,,終了,時,17,
,,,分,30,
...
,,,1,...,31,
2015 年,1 月,休業日,,ON,...,OFF,
,,休日,,OFF,...,ON,
...

```

3.4.1 通報先設定

ファイル名称: MailAddr.csv

DL30GCFG「メール通報」→「通報先設定」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2～65 列目 設定データ	備考
ー(ブランク)	(番号)No.1～No.64	
通報先名称	文字列 64 文字	
通報先アドレス	文字列 64 文字	

表 25: 通信先設定

3.4.2 フォーム

ファイル名称: Form.csv

DL30GCFG「メール通報」→「フォーム」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～67 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(番号)No.1～No.64	
モード	—	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
通報先	No.01	—	「なし」、「To」	
...	...	...	...	通報先 No.02～No.63 通報先 No.01 と同様
—	No.64	—	「なし」、「To」	
件名	—	—	文字列 32 文字	
本文	—	—	文字列 256 文字	
通報フィルタ	—	—	「全時間」、「就業日」、「休業日」、「就業時間内」、「就業時間外」、「休業時間」、「禁止」	
就業時間番号設定	—	—	整数 1～6	通報フィルタで「就業時間内」、「就業時間外」、「休業時間」を設定した場合有効。
CH 情報	CH01	タイプ	「無効」、「AI」、「DI」、「PI」、「MA」、「MD」、「AO」、「DO」、「GDO」	
—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	CH 情報 CH01、タイプで「無効」以外が設定された場合のみ有効。
...	...	...	...	CH 情報 CH02～CH31 CH 情報 CH01 と同様
—	CH32	タイプ	「無効」、「AI」、「DI」、「PI」、「MA」、「MD」、「AO」、「DO」、「GDO」	
—	—	CH	タイプに対応した CH 番号	CH 情報 CH32、タイプで「無効」以外が設定された場合のみ有効。
添付ファイル	—	—	「なし」、「日報」、「月報」、「年報」	
通報成功出力	モード	—	「なし」、「ON」、「OFF」	「なし」を設定した場合、通報成功出力以下の項目はブランク。
—	タイプ	—	「MD」、「DO」、「GDO」	
—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	

表 26: フォーム

3.4.3 定時通報

ファイル名称: Time.csv

DL30GCFG「メール通報」→「定時通報」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 設定データ	備考
モード	— (ブランク)	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
フォーム番号 1 - 32	—	—	整数 (16 進数) ビット単位、0 の時無効、 1 の時通報	
フォーム番号 33 - 64	—	—		
フォーム番号 65 - 96	—	—		
フォーム番号 97 - 128	—	—		
曜日指定	日曜日	—	「ON」、「OFF」	
—	月曜日	—		
—	火曜日	—		
—	水曜日	—		
—	木曜日	—		
—	金曜日	—		
—	土曜日	—		
送信時刻	0 時	送信	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、送信時刻、0 時以下の項目はブランク。
—	—	オフセット: 分	整数 0~59	
—	—	オフセット: 秒	整数 0~59	
...	...	...	...	送信時刻 1 時~CH22 送信時刻 0 時と同様
—	23 時	送信	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、送信時刻、23 時以下の項目はブランク。
—	—	オフセット: 分	整数 0~59	
—	—	オフセット: 秒	整数 0~59	

表 27: 定時通報

3.4.4 通報失敗出力

ファイル名称: Error.csv

DL30GCFG「メール通報」→「通報失敗出力」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 設定データ	備考
モード	「なし」、「ON」、「OFF」	
タイプ	「MD」、「DO」、「GDO」	モードで「なし」以外が設定
CH	タイプに対応した CH 番号	された場合のみ有効。

表 28: 通報失敗出力

3.4.5 通報カレンダー

ファイル名称: Calendar.csv

DL30GCFG「メール通報」→「通報カレンダー」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
就業時間	1	開始	時	整数 0～23	
— (ブランク)	—	—	分	整数 0～59	
—	—	終了	時	整数 0～23	
—	—	—	分	整数 0～59	
...	...	...	...	...	就業時間 2～5 就業時間 1 と同様
—	6	開始	時	整数 0～23	
—	—	—	分	整数 0～59	
—	—	終了	時	整数 0～23	
—	—	—	分	整数 0～59	
1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5～35 列目 設定データ	備考
—	—	—	—	(日付)1～31	
2015 年	1 月	休業日	—	「ON」、「OFF」 「ON」の時、休業日、休日 「OFF」の時、就業日、平日	28 日～30 日の月は、31 日に 満たない日はブランク。
—	—	休日	—		
—	2 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	3 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	4 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	5 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	6 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	7 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	8 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	9 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	10 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	11 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	12 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
...	...	...	...		2016 年～2098 年 2015 年と同様

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列 目 項 目 2	3 列 目 項 目 3	4 列 目 項 目 4	5～35 列目 設定データ	備考
2099 年	1 月	休業日	—	「ON」、「OFF」 「ON」の時、休業日、休日 「OFF」の時、就業日、平日	28 日～30 日の月は、31 日に 満たない日はblank。
—	—	休日	—		
—	2 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	3 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	4 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	5 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	6 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	7 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	8 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	9 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	10 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	11 月	休業日	—		
—	—	休日	—		
—	12 月	休業日	—		
—	—	休日	—		

表 29: 通報カレンダー

3.5 描画・表示

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。
 トレンド画面は、横方向にページごとの設定データを出力します。
 データ画面は、横方向にチャンネルごとの設定データを出力します。

例: Trend.csv

```
,ページ 1,...,ページ 16,  
ページ名称,エム・システム,...,トレンド画面,  
トレンドスピード,,1 秒,...,10 秒,  
...  
ペン設定 4,I/O 種別,DI,...,AI,  
,CH,1,...,10,  
,太線,無効,...,有効,  
,表示色,0x00ff0000,...,0x000080ff,  
,下限値,,..., -15.000,  
,上限値,,..., 105.000,
```

例: Data.csv

```
,CH1,CH2,...,CH32,CH33,...,CH64,CH65,...,CH128,CH129,...,CH256,  
AI,ON,ON,...,ON,ON,...,OFF,OFF,...,OFF,  
DI,ON,ON,...,ON,ON,...,ON,ON,...,ON,OFF,...,OFF,  
PI,ON,ON,...,OFF,OFF,...,OFF,OFF,...,OFF,  
MA, ON,ON,...,OFF,OFF,...,OFF,OFF,...,ON,ON,...,OFF,  
MD, ON,ON,...,ON,ON,...,OFF,OFF,...,ON,ON,...,OFF,  
AO,ON,ON,...,OFF,OFF,...,OFF,  
DO,ON,ON,...,ON,OFF,...,OFF,OFF,...,OFF,  
GDO,ON,ON,...,OFF,
```

3.5.1 トレンド画面

ファイル名称: Trend.csv

DL30GCFG「描画・表示」→「トレンド画面」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～18 列目 設定データ	備考
— (ブランク)	—	(ページ番号) ページ 1～ページ 16	
ページ名称	—	文字列 64 文字	
トレンドスピード	—	「1 秒」、「5 秒」、「10 秒」、「30 秒」、「1 分」、「5 分」、「10 分」、「15 分」、「30 分」、「1 時間」、「1 日」	
時刻	—	整数 0～23	トレンドスピードで「1 日」を設定した場合有効。
ペン設定 1	I/O 種別	「無効」、「AI」、「DI」、「PI」、「MA」、「MD」、「AO」、「DO」、「GDO」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	ペン設定 1、I/O 種別で「無効」以外を設定した場合有効。
—	太線	「有効」、「無効」	
—	表示色	RGB (整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
—	下限値	小数点以下桁数 3 桁	ペン設定 1、I/O 種別で「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定した場合有効。
—	上限値	-10000000000.000～10000000000.000	
...	...	...	ペン設定 2、ペン設定 3 ペン設定 1 と同様
ペン設定 4	I/O 種別	「無効」、「AI」、「DI」、「PI」、「MA」、「MD」、「AO」、「DO」、「GDO」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	ペン設定 1、I/O 種別で「無効」以外を設定した場合有効。
—	太線	「有効」、「無効」	
—	表示色	RGB (整数、16 進数) 0～0x00ffffff	
—	下限値	小数点以下桁数 3 桁	ペン設定 1、I/O 種別で「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定した場合有効。
—	上限値	-10000000000.000～10000000000.000	

表 30: トレンド画面

3.5.2 データ画面

ファイル名称: Data.csv

DL30GCFG「描画・表示」→「データ画面」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2～257 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	(CH 番号)CH1～CH256
AI	「ON」: 表示許可 「OFF」: 表示不可	CH129 以降はブランク
DI		
PI		CH129 以降はブランク
MA		
MD		
AO		CH65 以降はブランク
DO		CH129 以降はブランク
GDO		CH33 以降はブランク

表 31: データ画面

3.6 記録

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。

例: Pattern.csv

```
モード,,,有効,  
ヘッダ 1 行目,モード,,有効,  
ヘッダ,,,エム・システム,  
...  
ペン情報,PEN1,タイプ,,AI,  
,,CH,,1,  
,,サンプリング方式,,瞬時値,  
,,データ範囲,モード,有効,  
,,,上限,1150.000,  
,,,下限,-5.00,  
...
```

3.6.1 ロギング

ファイル名称: Logging.csv

DL30GCFG「記録」→「ロギング」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
モード	— (ブランク)	—	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
ヘッダ 1 行目	モード	—	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、ヘッダ 1 行目「ヘッダ」はブランク。
—	ヘッダ	—	—	文字列 1024 文字	
ヘッダ 2 行目	モード	—	—	ヘッダ 1 行目と同様	ヘッダ 1 行目と同様
—	ヘッダ	—	—		
ヘッダ 3 行目	モード	—	—		
—	ヘッダ	—	—		
SSPRO フォーマット	—	—	—	「有効」、「無効」	
ペン情報	PEN1	タイプ	—	「なし」、「AI」、「DI」、 「PI」、「MA」、「MD」、 「AO」、「DO」、「GDO」	「なし」を設定した場合、PEN1 以下の項目はブランク。
—	—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	
—	—	サンプリング方式	—	「瞬時値」、「平均値」、 「ピーク値(大)」、「ピーク値(小)」	ペン情報、PEN1、タイプで「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定した場合有効。
—	—	データ範囲	モード	「有効」、「無効」	ペン情報、PEN1、タイプで「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定した場合有効。
—	—	—	上限	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000 ~ 10000000000.000	ペン情報、PEN1、データ範囲、モードで「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	下限		
—	—	エラーモード	モード	「前回値」、「固定値」、 「固定文字」	ペン情報、PEN1、タイプで「AI」、「DI」、「PI」を設定した場合または、ペン情報、PEN1、タイプで「MA」、「AO」を設定し、ペン情報、PEN1、データ範囲、モードで「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	固定値	ペン情報、PEN1、タイプが「DI」の時、「ON」、「OFF」。 それ以外、小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000 ~ 10000000000.000。	ペン情報、PEN1、エラーモード、モードで「固定値」を設定した場合有効。
—	—	—	固定文字	文字列 8 文字	ペン情報、PEN1、エラーモード、モードで「固定文字」を設定した場合有効。

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
...	...	...	...	...	ペン情報、PEN2～ペン情報、PEN127 ペン情報、PEN1 と同様
ペン情報	PEN128	タイプ	—	「なし」、「AI」、「DI」、 「PI」、「MA」、「MD」、 「AO」、「DO」、「GDO」	「なし」を設定した場合、PEN128 以下の項目はblank。
—	—	CH	—	タイプに対応した CH 番 号	
—	—	サンプリ ング方式	—	「瞬時値」、「平均値」、 「ピーク値(大)」、「ピー ク値(小)」	ペン情報、PEN128、タイプで 「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定 した場合有効。
—	—	データ範 囲	モード	「有効」、「無効」	ペン情報、PEN128、タイプで 「AI」、「PI」、「MA」、「AO」を設定 した場合有効。
—	—	—	上限	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	ペン情報、PEN128、データ範囲、 モードで「有効」を設定した場合 有効。
—	—	—	下限		
—	—	エラーモ ード	モード	「前回値」、「固定値」、 「固定文字」	ペン情報、PEN128、タイプで 「AI」、「DI」、「PI」を設定した場合 または、ペン情報、PEN128、タイ プで「MA」、「AO」を設定し、ペン 情報、PEN128、データ範囲、モ ードで「有効」を設定した場合有 効。
—	—	—	固定値	ペン情報、PEN1、タイ プが「DI」の時、「ON」、 「OFF」。 それ以外、小数点以下 桁数 3 桁 -10000000000.000 ～ 10000000000.000。	ペン情報、PEN128、エラーモー ド、モードで「固定値」を設定した 場合有効。
—	—	—	固定文字	文字列 8 文字	ペン情報、PEN128、エラーモー ド、モードで「固定文字」を設定し た場合有効。
自動開始	—	—	—	「有効」、「無効」	
SD カード 自動削除	—	—	—	「有効」、「無効」	
SD カード記録 文字コード	—	—	—	「SJIS」、「UTF-8」	
間隔指定	モード	—	—	「秒」、「分」、「時」	
—	秒	—	—	「1」、「2」、「5」、「10」、 「20」、「30」	間隔指定、モードで「秒」を設定し た場合有効。
—	分	—	—	「1」、「2」、「5」、「10」、 「15」、「20」、「30」	間隔指定、モードで「分」を設定し た場合有効。
—	時設定	0 時	ロギング	「有効」、「無効」	間隔指定、モードで「時」を設定し た場合有効。
—	—	—	オフセット: 分	整数 0～59	間隔指定、時設定、0 時、ロギング で「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	オフセット: 秒	整数 0～59	

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
...	...	...	...	...	間隔指定、時設定、1 時～間隔指定、時設定、22 時 間隔指定、時設定、0 時と同様
—	—	23 時	ロギング	「有効」、「無効」	間隔指定、モードで「時」を設定した場合有効。
—	—	—	オフセット： 分	整数 0～59	間隔指定、時設定、23 時、ロギングで「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	オフセット： 秒	整数 0～59	
—	日付変更時刻	—	—	整数 0～23	
—	曜日	日曜日	—	「ON」、「OFF」	
—	—	月曜日	—		
—	—	火曜日	—		
—	—	水曜日	—		
—	—	木曜日	—		
—	—	金曜日	—		
—	—	土曜日	—		

表 32: ロギング

3.6.2 イベント

ファイル名称: Event.csv

DL30GCFG「記録」→「イベント」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ	備考
SD カード自動削除	— (ブランク)	「有効」、「無効」	
イベントログ	モード	「有効」、「無効」	
—	SD カード記録 文字コード	「SJIS」、「UTF-8」	イベントログ、モードで「有効」を設定した場合有効。
システムログ	—	「有効」、「無効」	
通信ログ	—	「有効」、「無効」	
スケジュールログ	モード	「有効」、「無効」	
—	SD カード記録 文字コード	「SJIS」、「UTF-8」	スケジュールログ、モードで「有効」を設定した場合有効。

表 33: イベント

3.6.3 帳票

ファイル名称: Report.csv

DL30GCFG「記録」→「レポート」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
モード	— (ブランク)	—	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
SD カード自動削除	—	—	—	「有効」、「無効」	
SD カード記録文字コード	—	—	—	「SJIS」、「UTF-8」	
タイトル	日報	—	—	文字列 32 文字	
—	月報	—	—	文字列 32 文字	
—	年報	—	—	文字列 32 文字	
ペン情報	PEN1	タイプ	—	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」	「なし」を設定した場合、PEN1 以下の項目はブランク。
—	—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	
—	—	サンプリング方式	—	「瞬時値」、「平均値」、「ピーク値(大)」、「ピーク値(小)」	
—	—	基本データ	—	「合計」、「平均」、「最大」、「最小」	
—	—	データ範囲	モード	「有効」、「無効」	
—	—	—	上限	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000 ~	ペン情報、PEN1、データ範囲、モードで「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	下限	10000000000.000	
—	—	エラーモード	モード	「前回値」、「固定値」、「固定文字」	ペン情報、PEN1、タイプで「AI」、「PI」を設定または、ペン情報、PEN1、タイプで「MA」を設定し、ペン情報、PEN1、データ範囲、モードで「有効」を設定した場合有効。
—	—	—	固定値	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000 ~ 10000000000.000	ペン情報、PEN1、エラーモード、モードで「固定値」を設定した場合有効。
—	—	—	固定文字	文字列 8 文字	ペン情報、PEN1、エラーモード、モードで「固定文字」を設定した場合有効。
...	...	...	...	...	ペン情報、PEN2 ~ ペン情報、PEN127 ペン情報、PEN1 と同様

(次頁に続く)

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4 列目 項目 4	5 列目 設定データ	備考
ペン情報	PEN128	タイプ	—	「なし」、「AI」、「PI」、 「MA」	「なし」を設定した場合、PEN128 以下の項目はblank。
—	—	CH	—	タイプに対応した CH 番 号	
—	—	サンプリ ング方式	—	「瞬時値」、「平均値」、 「ピーク値(大)」、「ピーク 値(小)」	
—	—	基本デー タ	—	「合計」、「平均」、「最 大」、「最小」	
—	—	データ範 囲	モード	「有効」、「無効」	
—	—	—	上限	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000～ 10000000000.000	ペン情報、PEN128、データ範囲、 モードで「有効」を設定した場合 有効。
—	—	—	下限		
—	—	エラーモ ード	モード	「前回値」、「固定値」、 「固定文字」	ペン情報、PEN128、タイプで 「AI」、「PI」を設定または、 ペン情報、PEN128、タイプで「MA」 を設定し、ペン情報、PEN128、デ ータ範囲、モードで「有効」を設定 した場合有効。
—	—	—	固定値	小数点以下桁数 3 桁 -10000000000.000 ～ 10000000000.000	ペン情報、PEN128、エラーモー ド、モードで「固定値」を設定した 場合有効。
—	—	—	固定文字	文字列 8 文字	ペン情報、PEN128、エラーモー ド、モードで「固定文字」を設定し た場合有効。
フォーム番 号 1 - 32	—	—	—	整数(16 進数) ビット単位、 0 の時無効、 1 の時通報	
フォーム番 号 33 - 64	—	—	—		
フォーム番 号 65 - 96	—	—	—		
フォーム番 号 97 - 128	—	—	—		
メール送信タ イミング	日報	—	—	「無効」、「ファイル更新 時」、「ファイル確定時」	
—	月報	—	—	「無効」、「ファイル更新 時」、「ファイル確定時」	
—	年報	—	—	「無効」、「ファイル更新 時」、「ファイル確定時」	
日報開始時 刻	—	—	—	整数 1～24	
月報開始日	—	—	—	整数 1～28	
年報開始月	—	—	—	整数 1～12	

表 34: 帳票

3.7 スケジュール

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。

パターン設定は、横方向にパターン No.、ユニット設定は横方向にユニット No.ごとの設定データを出力します。

例: Pattern.csv

```
,,,No.1,...,No.64,  
パターン名,,エム・システム,...,DL30,  
No.1,タイプ,,MD,...,DO,  
,CH,,1,...,10,  
,開始時刻,時,8,...,9,  
,,分,30,...,0,  
,終了時刻,時,17,...,17,  
,,分,30,...,0,  
...  
No.8,タイプ,,GDO,...,MD,  
...
```

3.7.1 パターン設定

ファイル名称: Pattern.csv

DL30GCFG「スケジュール」→「パターン設定」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 項目 3	4～67 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	—	(番号)No.01～No.64	
パターン名	—	—	文字列 32 文字	
No.1	タイプ	—	「なし」、「DO」、「GDO」、「MD」	「なし」を設定した場合、No.1 以下の項目はブランク。
—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	
—	開始時刻	時	整数 0～23	
—	—	分	整数 0～59	
—	終了時刻	時	整数 0～23	
—	—	分	整数 0～59	
...	...	...	...	No.2～No.7 No.1 と同様
No.8	タイプ	—	「なし」、「DO」、「GDO」、「MD」	「なし」を設定した場合、No.8 以下の項目はブランク。
—	CH	—	タイプに対応した CH 番号	
—	開始時刻	時	整数 0～23	
—	—	分	整数 0～59	
—	終了時刻	時	整数 0～23	
—	—	分	整数 0～59	

表 35: パターン設定

3.7.2 ユニット設定

ファイル名称: Unit.csv

DL30GCFG「スケジュール」→「ユニット設定」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～34 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	(番号)No.01～No.32	
モード	—	「有効」、「無効」	「無効」を設定した場合、以下の項目全てブランク。
ユニット名	—	文字列 32 文字	
基本割り付け	日曜日	「なし」または整数 1～64	
—	月曜日		
—	火曜日		
—	水曜日		
—	木曜日		
—	金曜日		
—	土曜日		

表 36: ユニット設定

3.7.3 メンテナンス入力設定

ファイル名称: Mainte.csv

DL30GCFG「スケジュール」→「メンテナンス入力設定」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3 列目 設定データ	備考
チャンネル	タイプ	「なし」、「DI」、「MD」	「なし」を設定した場合、CH はblank。
ー (blank)	CH	タイプに対応した CH 番号	

表 37: ユニット設定

3.8 稼働監視

縦方向に設定項目、横方向に各設定データを出力します。
横方向に工程 No.ごとの設定データを出力します。

例: Opemon.csv

```
„工程 1, …, 工程 32,  
名称„エム・システム, …, DL30,  
チャンネル 1, タイプ, DI, …, AI  
, CH, 1, …, 5  
チャンネル 2, タイプ, MD, …,,  
, CH, 1, …,,  
…  
数値表示(主), タイプ, AI, …,,  
, CH, 1, …,,  
数値表示(副 1), タイプ, MD, …, AI,  
, CH, 2, …, 2,  
…
```

ファイル名称: Opemon.csv

DL30GCFG「稼働監視」と設定内容は同様です。詳細は下記一覧のとおり。

1 列目 項目 1	2 列目 項目 2	3～34 列目 設定データ	備考
—(ブランク)	—	(番号)工程 1～工程 32	
名称	—	文字列 32 文字	
チャンネル 1	タイプ	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」、 「DI」、「MD」	「なし」を設定した場合、以下の項目はブランク。 「AI」、「PI」、「MA」を設定した場合、チャンネル 2～5、数値表示(主)はブランク。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	
チャンネル 2	タイプ	「なし」、「DI」、「MD」	チャンネル 1、タイプで「DI」、「MD」を設定した場合有効。 「なし」を設定した場合、チャンネル 3～5 の項目はブランク。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	チャンネル 2、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
チャンネル 3	タイプ	「なし」、「DI」、「MD」	チャンネル 1、タイプで「DI」、「MD」を設定し、チャンネル 2、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	チャンネル 3、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
チャンネル 4	タイプ	「なし」、「DI」、「MD」	チャンネル 1、タイプで「DI」、「MD」を設定し、チャンネル 2、3、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	チャンネル 4、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
チャンネル 5	タイプ	「なし」、「DI」、「MD」	チャンネル 1、タイプで「DI」、「MD」を設定し、チャンネル 2～4、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	チャンネル 5、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
数値表示(主)	タイプ	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」	チャンネル 1、タイプで「DI」、「MD」を設定した場合有効。
—	CH	タイプに対応した CH 番号	数値表示(主)、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
数値表示(副 1)	タイプ	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」、 「DI」、「MD」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	数値表示(副 1)、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
数値表示(副 2)	タイプ	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」、 「DI」、「MD」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	数値表示(副 2)、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。
数値表示(副 3)	タイプ	「なし」、「AI」、「PI」、「MA」、 「DI」、「MD」	
—	CH	タイプに対応した CH 番号	数値表示(副 3)、タイプで「なし」以外を設定した場合有効。

表 38: 稼働監視設定

4.参考資料

4.1 設定可能な文字数

設定データの文字数は、全半角文字が混在する前提で記載しています。

すべての文字が半角（ASCII コード）の場合は、倍の文字数を設定できます。